



## 2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月9日

上場会社名 株式会社山田債権回収管理総合事務所 上場取引所 東  
 コード番号 4351 URL <http://www.yamada-servicer.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 晃久  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田中 光行 TEL 045 (325) 3933  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	1,223	1.9	39	△74.4	86	△43.6	70	△51.9
2022年12月期第2四半期	1,201	26.7	152	—	154	—	145	—

（注）包括利益 2023年12月期第2四半期 76百万円（△18.8%） 2022年12月期第2四半期 94百万円（－%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	16.45	—
2022年12月期第2四半期	34.19	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	5,769	3,217	55.8
2022年12月期	5,174	3,183	61.5

（参考）自己資本 2023年12月期第2四半期 3,217百万円 2022年12月期 3,183百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,678	12.1	218	305.0	307	257.6	189	147.8	44.58

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 2 Q	4,268,000株	2022年12月期	4,268,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期 2 Q	8,434株	2022年12月期	8,434株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 2 Q	4,259,566株	2022年12月期 2 Q	4,259,566株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく景気、不動産市況、金利、為替動向等の社会・経済動向の変化が含まれます。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	10
(収益認識関係) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年1月1日～2023年6月30日)におけるわが国経済は、世界経済の大きな流れの中で、本年5月に新型コロナウイルス感染症が5類移行となりポストコロナ対策が本格化しました。今後の状況等について引続き注視してまいります。

このような環境下、当社グループは、「顧客第一主義」を経営理念に掲げ、「不動産・債権に関するワンストップサービスの提供」をビジネスモデルとして、サービサー事業、派遣事業、不動産ソリューション事業等を展開してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が1,223百万円(前年同期比1.9%増)となり、営業利益は39百万円(前年同期比74.4%減)、経常利益は86百万円(前年同期比43.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は70百万円(前年同期比51.9%減)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### ① サービサー事業

サービサー事業においては、既存の購入済債権からの回収等が順調に進み、売上高は390百万円(前年同期比15.5%減)、セグメント利益は133百万円(前年同期比52.0%減)となりました。なお前年同期において、個別要因から比較的大きな売上高、セグメント収益を計上したこと、当期は回収関連費用が先行して支出されたこと等により、前年同期との比較では前述の通りとなっています。

#### ② 派遣事業

派遣事業においては、計画通りに推移し、売上高は695百万円(前年同期比2.2%増)、セグメント利益は110百万円(前年同期比5.7%増)となりました。

#### ③ 不動産ソリューション事業

不動産ソリューション事業においては、前期に仕入れた大型の借地権負担付土地(底地)案件の営業活動の進捗が予定より遅れておりますが、前期以前に仕入れた不動産の売却が進んだ結果、売上高は145百万円(前年同期比100.2%増)となり、セグメント利益は39百万円(前年同期比110.9%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は、総資産5,769百万円(前連結会計年度末に比べ595百万円増)、株主資本3,096百万円(同27百万円増)となりました。

##### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産の残高は5,125百万円(前連結会計年度末に比べ620百万円増)となりました。これは主に、現金及び預金167百万円の増加、買取債権642百万円の増加、販売用不動産88百万円の減少、未収入金64百万円の減少によるものであります。

##### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末の固定資産の残高は644百万円(前連結会計年度末に比べ25百万円減)となりました。これは主に、投資有価証券45百万円の減少、有形固定資産75百万円の増加、投資不動産54百万円の減少によるものであります。

##### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債の残高は1,389百万円(前連結会計年度末に比べ412百万円増)となりました。これは主に、短期借入金400百万円の増加、未払法人税等15百万円の増加によるものであります。

##### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末の固定負債の残高は1,162百万円(前連結会計年度末に比べ148百万円増)となりました。これは主に、長期借入金100百万円の増加、リース債務70百万円の増加によるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の残高は3,217百万円(前連結会計年度末に比べ33百万円増)となりました。これは主に、配当に伴う利益剰余金42百万円の減少、親会社株主に帰属する四半期純利益70百万円の計上によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動により411百万円の資金を支出、投資活動により145百万円の資金を獲得、財務活動により443百万円の資金を獲得した結果、当第2四半期連結会計期間末には835百万円（前連結会計年度末に比べ178百万円増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果支出した資金は、411百万円（前年同期は69百万円の支出）となりました。これは主に、買取債権の回収による収入462百万円、買取債権の購入による支出888百万円があったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は、145百万円（前年同期は10百万円の獲得）となりました。これは主に、投資不動産の売却による収入65百万円、投資有価証券の売却による収入28百万円があったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は、443百万円（前年同期は654百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の借入による収入500百万円、配当金の支払額42百万円があったこと等によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期通期の連結業績予想については、2023年8月4日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	758,793	926,142
売掛金	127,642	136,325
買取債権	2,291,574	2,933,635
販売用不動産	1,862,113	1,773,389
仕掛品	1,888	1,859
未収入金	114,419	49,421
未収還付法人税等	1,067	—
その他	74,660	77,680
貸倒引当金	△727,139	△772,930
流動資産合計	4,505,021	5,125,523
固定資産		
有形固定資産	63,423	139,220
無形固定資産	6,320	5,400
投資その他の資産		
投資有価証券	364,866	319,322
差入保証金・敷金	156,418	156,418
その他	78,260	23,815
投資その他の資産合計	599,544	499,556
固定資産合計	669,288	644,176
資産合計	5,174,310	5,769,700
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	798	1
短期借入金	750,000	1,150,000
未払金	89,814	62,797
リース債務	18,724	35,067
未払法人税等	17,775	32,834
預り金	43,439	27,970
賞与引当金	17,200	17,900
その他	39,619	63,352
流動負債合計	977,371	1,389,923
固定負債		
長期借入金	—	100,000
リース債務	35,380	105,721
繰延税金負債	36,778	30,728
役員退職慰労引当金	648,484	631,233
退職給付に係る負債	260,114	257,328
預り保証金	21,123	25,750
資産除去債務	11,286	11,386
固定負債合計	1,013,167	1,162,147
負債合計	1,990,539	2,552,070

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,084,500	1,084,500
資本剰余金	806,840	806,840
利益剰余金	1,180,480	1,207,982
自己株式	△3,228	△3,228
株主資本合計	3,068,593	3,096,095
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	115,178	121,534
その他の包括利益累計額合計	115,178	121,534
非支配株主持分	—	—
純資産合計	3,183,771	3,217,629
負債純資産合計	5,174,310	5,769,700

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,201,119	1,223,423
売上原価	751,297	886,224
売上総利益	449,822	337,199
販売費及び一般管理費	297,119	298,062
営業利益	152,703	39,136
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,676	4,406
家賃収入	5,306	45,931
設備賃貸料	6,332	6,791
投資事業組合利益	—	721
その他	2,771	5,235
営業外収益合計	18,086	63,086
営業外費用		
支払利息	11,627	7,101
家賃原価	1,142	4,975
投資事業組合損失	2,962	—
その他	865	3,210
営業外費用合計	16,598	15,286
経常利益	154,192	86,936
特別利益		
固定資産売却益	—	10,462
特別利益合計	—	10,462
特別損失		
投資有価証券売却損	—	6,872
特別損失合計	—	6,872
税金等調整前四半期純利益	154,192	90,526
法人税、住民税及び事業税	7,445	23,771
法人税等調整額	1,105	△3,342
法人税等合計	8,550	20,429
四半期純利益	145,641	70,097
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	145,641	70,097



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	145,641	70,097
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△51,494	6,356
その他の包括利益合計	△51,494	6,356
四半期包括利益	94,147	76,453
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94,147	76,453
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	154,192	90,526
減価償却費	14,278	15,355
買取債権回収益	△451,401	△215,312
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	6,872
固定資産売却損益 (△は益)	—	△10,462
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	42,007	45,791
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9,733	△17,251
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4,963	△2,786
投資事業組合運用損益 (△は益)	2,962	△721
支払利息	11,725	7,200
売上債権の増減額 (△は増加)	31,613	△8,682
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△782,458	88,754
未収入金の増減額 (△は増加)	△34,040	64,997
前払費用の増減額 (△は増加)	△12,809	△3,895
立替金の増減額 (△は増加)	6,080	1,737
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1	△797
未払金の増減額 (△は減少)	△44,104	△16,537
預り金の増減額 (△は減少)	2,417	△4,772
買取債権の購入による支出	△277,202	△888,884
買取債権の回収による収入	1,208,587	462,136
その他	△5,773	△11,251
小計	△119,229	△397,984
利息及び配当金の受取額	3,677	4,406
利息の支払額	△11,197	△7,892
法人税等の支払額	△7,862	△10,695
法人税等の還付額	65,068	1,067
営業活動によるキャッシュ・フロー	△69,543	△411,098
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△8,620	—
定期預金の払戻による収入	8,620	—
有形固定資産の売却による収入	3,109	—
投資有価証券の取得による支出	△19,900	—
投資有価証券の売却による収入	—	28,329
投資事業組合出資金の返還による収入	19,193	407
預り保証金の返還による支出	—	△3,546
預り保証金の受入による収入	69	1,571
投資不動産の取得による支出	—	△181
投資不動産の売却による収入	—	65,000
その他	7,762	53,986
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,233	145,567
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	500,000
短期借入金の返済による支出	△600,000	△100,000
長期借入れによる収入	—	100,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△12,151	△13,923
配当金の支払額	△42,633	△42,475
財務活動によるキャッシュ・フロー	△654,784	443,601
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△714,094	178,069
現金及び現金同等物の期首残高	1,260,905	657,530
現金及び現金同等物の四半期末残高	546,811	835,600

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大による影響)

新型コロナウイルス感染症により、今後も営業活動に影響があるものと見込んでおります。ただ、このような状況は、2023年末に向けて徐々に正常化すると仮定し、会計上の見積りを行っております。

なお、この仮定は不確実性が高く、収束遅延により影響が長期化した場合には、将来において当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間（自2022年1月1日 至2022年6月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	サービス 事業	派遣事業	不動産ソリ ューション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	462,907	665,492	72,719	1,201,119	—	1,201,119
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	14,889	—	14,889	—	14,889
計	462,907	680,381	72,719	1,216,009	—	1,216,009
セグメント利益又は損失 (△)	279,289	104,331	18,589	402,210	△2,363	399,847

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への売上高	—	1,201,119
セグメント間の内部売上 高又は振替高	△14,889	—
計	△14,889	1,201,119
セグメント利益又は損失 (△)	△247,143	152,703

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、測量事業・投資事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額の主なものは、全社費用の247,155千円であり、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自2023年1月1日 至2023年6月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	サービス 事業	派遣事業	不動産ソリ ューション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	390,987	683,757	145,552	1,220,297	3,126	1,223,423
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	11,839	—	11,839	—	11,839
計	390,987	695,597	145,552	1,232,137	3,126	1,235,263
セグメント利益又は損失 (△)	133,972	110,282	39,198	283,454	△82	283,371

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への売上高	—	1,223,423
セグメント間の内部売上 高又は振替高	△11,839	—
計	△11,839	1,223,423
セグメント利益又は損失 (△)	△244,235	39,136

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、測量事業・投資事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額の主なものは、全社費用の244,344千円であり、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間（自2022年1月1日 至 2022年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	サービス事業	派遣事業	不動産ソリューション事業	その他 (注) 1	
債権回収受託手数料	10,610	—	—	—	10,610
派遣料収入	—	665,492	—	—	665,492
不動産販売	—	—	33,654	—	33,654
仲介手数料等	—	—	30,226	—	30,226
その他	896	—	—	—	896
顧客との契約から生じる収益	11,506	665,492	63,880	—	740,879
その他の収益(注) 2	451,401	—	8,839	—	460,240
外部顧客への売上高	462,907	665,492	72,719	—	1,201,119

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、測量事業・投資事業等を含んでおります。

2. 「その他の収益」は、「金融商品に関する会計基準」に基づく買取債権の回収による収入及び「リース取引に関する会計基準」に基づく不動産賃貸収入であります。

当第2四半期連結累計期間（自2023年1月1日 至 2023年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	サービス事業	派遣事業	不動産ソリューション事業	その他 (注) 1	
債権回収受託手数料	13,673	—	—	—	13,673
派遣料収入	—	683,757	—	—	683,757
不動産販売	137,000	—	128,600	—	265,600
仲介手数料等	—	—	6,201	—	6,201
その他	260	—	—	3,126	3,386
顧客との契約から生じる収益	150,933	683,757	134,801	3,126	972,618
その他の収益(注) 2	240,054	—	10,750	—	250,804
外部顧客への売上高	390,987	683,757	145,552	3,126	1,223,423

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、測量事業・投資事業等を含んでおります。

2. 「その他の収益」は、「金融商品に関する会計基準」に基づく買取債権の回収による収入及び「リース取引に関する会計基準」に基づく不動産賃貸収入であります。